

北谷町

介護予防・日常生活圏域二一ス調査結果報告書

令和8年3月

北 谷 町



# 目次

## I. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

1. 調査の目的.....	1
2. 調査の概要.....	1
3. 集計について.....	1
4. リスク判定方法.....	2

## II. 調査結果

1. 回答者の基本属性等.....	5
(1)性別、年齢.....	5
(2)家族について.....	6
(3)総合事業対象者.....	6
2. 体を動かすことについて.....	7
(1)運動器の機能低下者（リスク者）.....	7
(2)転倒リスク者.....	7
(3)閉じこもり傾向（リスク者）.....	7
3. 体のことや食べることについて.....	8
(1)低栄養の傾向（リスク者）.....	8
(2)口腔機能低下.....	8
4. 毎日の生活について.....	10
(1)認知機能.....	10
(2)IADLの低下者（リスク者）.....	11
(3)携帯電話（折りたたみ式、スマートフォン）やタブレット等について.....	11
(4)外出について.....	12
5. あなたの活動について.....	13
(1)社会参加.....	13
6. 健康について.....	15
(1)主観的健康感.....	15
(2)主観的幸福感.....	16
7. その他.....	17
(1)認知症に関する相談窓口を知っているか.....	17
(2)人生の最終段階について.....	17
(3)エンディングノートの認知状況.....	17
8. リスク者割合の比較.....	18

(1) 圏域別の比較.....	18
(2) 家族構成別の比較.....	19
(3) 社会参加別の比較.....	20
(4) 主観的幸福度別の比較.....	21
(5) 主観的健康観別の比較.....	21
(6) BMI 別の比較.....	22

# I. 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

## 1. 調査の目的

老人福祉法第 20 条の 8 の規定等に基づく高齢者福祉計画を策定する上で、高齢者の生活状況や活動状況などの必要な基礎資料を得るとともに、超高齢社会に対する意識や介護保険サービスに対する意向などの実態を把握することを目的としています。

## 2. 調査の概要

調査実施期間：令和 8 年 1 月 5 日～令和 8 年 1 月 3 1 日

調査方法：郵送による配布・回収

調査対象者：町内在住の 65 歳以上の高齢者（要介護 1～5 の認定者以外）

回収状況：配布数：1,800 件 回収数：1,053 件（回収率：58.5%）

調査内容：厚労省より示された日常生活圏域ニーズ調査設問項目をベースに独自項目を追加して作成

## 3. 集計について

- 各設問に示している「回答者実数」は、全員に回答してもらう設問では有効回答数と同数ですが、回答者を限定している設問では、その条件に合う人のみが対象となるため、有効回答数を下回っています。
- 集計では、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、比率を合計しても 100.0%にならない場合があります。
- 地区別や性別、年代別といった「クロス集計結果」については、無回答を除いて表示していません。
- 複数回答の設問については、回答数の合計が回答者実数を上回ることがあります。このため、比率の合計が 100%を超える場合があります。
- 集計によっては、回答者実数が 10 人未満と非常に少ない場合もあり、このような集計は参考程度として見る必要があります。
- グラフや表では、選択肢を一部省略して表記している場合があります。（選択肢が長い場合など）

## 4. リスク判定方法

本報告書では、調査票の各設問より、運動機能低下や転倒リスクなどの「身体機能リスク判定」を行い、介護に陥りやすい高齢者の状態分析を行っています。各リスクと判定方法は以下のとおりです。

### (1)運動器機能の低下

下記の設問で3問以上、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
15分位続けて歩いていますか	1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない
過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない
転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

### (2)転倒リスク

下記の設問で、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢
過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

### (3)閉じこもり傾向

下記の設問で、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢
週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上

### (4)低栄養傾向

下記の設問で、BMIが18.5以下となり、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢
身長・体重	身長・体重から算出されるBMI(体重(kg)÷{身長(m)×身長(m)})が18.5以下の場合、低栄養が疑われる
6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい 2. いいえ

### (5)口腔機能の低下

下記の設問で2問以上、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい 2. いいえ
お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい 2. いいえ
口の渇きが気になりますか	1. はい 2. いいえ

### (6)認知機能の低下

下記の設問で、該当する選択肢(網掛け箇所)が回答された場合は、リスクありと判定されます。

設問内容	選択肢
物忘れが多いと感じますか	1. はい 2. いいえ

(7) I A D L (手段的自立度)の低下

下記の設問で、5点満点中、3点以下を「低下」として評価します。

I A D Lは、外出や買物など、自立した日常生活を送るために必要な能力の判断基準となります。

設問内容	選択肢
バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点
自分で食品・日用品の買物をしていますか	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点
自分で食事の用意をしていますか	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点
自分で請求書の支払いをしていますか	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点
自分で預貯金の出し入れをしていますか	1. できるし、している 1点 2. できるけどしていない 1点 3. できない 0点

## II. 調査結果

### 1. 回答者の基本属性等

#### (1) 性別、年齢

調査対象者の性別は、「男性」が46.6%、「女性」が53.4%で、女性の方が多くなっています。

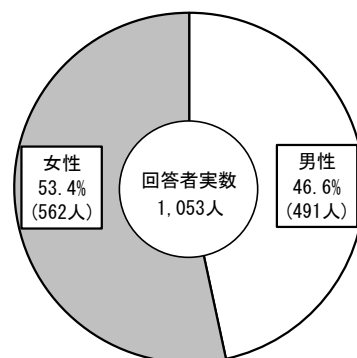
年齢は、「70代」が51.5%、「80代」が23.8%、「60代」が21.2%となっています。

年齢について圏域別にみると、「70代」がどちらの圏域でも高いが、次に高い年齢は「北谷中学校区」では「80代」、「桑江中学校区」では「60代」が高くなっています。

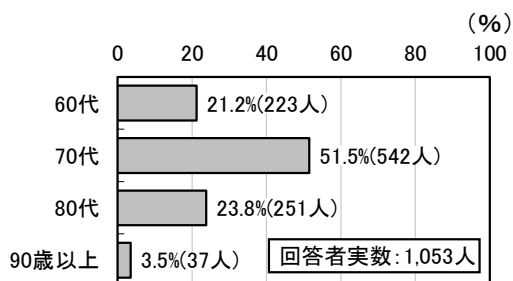
年齢（性別、圏域別）

	回答者実数	60代	70代	80代	90歳以上
全体	100.0% (1,053人)	21.2% (223人)	51.5% (542人)	23.8% (251人)	3.5% (37人)
男性	46.6% (491人)	19.1% (94人)	54.8% (269人)	23.4% (115人)	2.6% (13人)
女性	53.4% (562人)	23.0% (129人)	48.6% (273人)	24.2% (136人)	4.3% (24人)
北谷中学校区	52.3% (551人)	18.5% (102人)	51.0% (281人)	26.1% (144人)	4.4% (24人)
桑江中学校区	47.7% (502人)	24.1% (121人)	52.0% (261人)	21.3% (107人)	2.6% (13人)

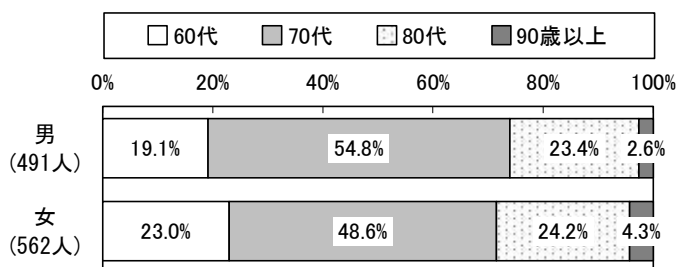
性別



年齢



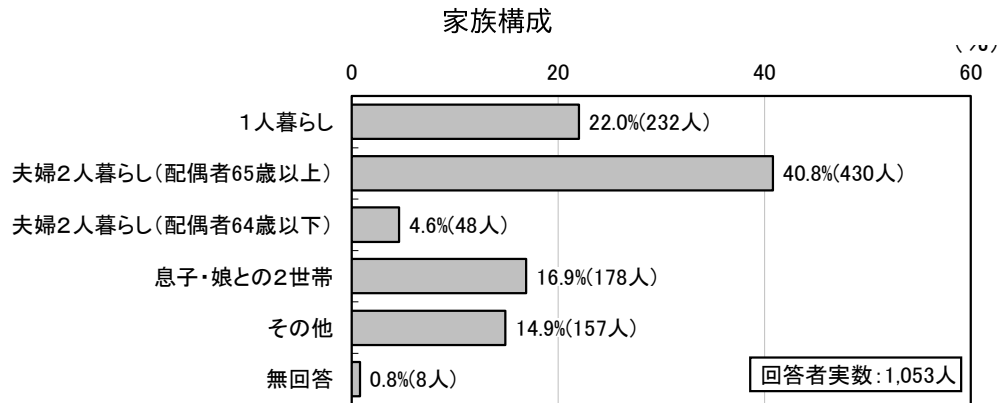
年齢（性別）



## (2) 家族について

### ① 家族構成

家族構成をみると、「夫婦2人暮らし(配偶者が65歳以上)」が40.8%で最も高く、次いで「1人暮らし」の22.0%、「3人以上の同居世帯」は16.9%で、前回調査では第2位となっていました。今回はわずかに1人暮らしの方が三世帯世帯を上回りました。

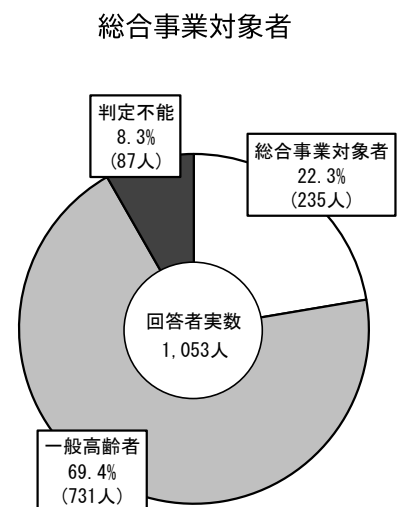


## (3) 総合事業対象者

調査結果より身体機能低下者を集計し、これを総合事業対象者として要介護状態に陥るおそれのある人の把握を行いました。

総合事業対象者についてみると、対象となる人は22.3%で、2割を占めています。

※本調査で言う「総合事業対象者」は、町が実際に基本チェックリストにより把握した総合事業対象者ではなく、本調査票を回答することで把握された“総合事業対象者に該当する人”という位置づけになります。

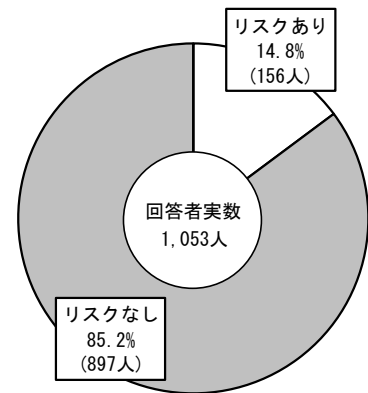


## 2. 体を動かすことについて

### (1) 運動器の機能低下者（リスク者）

運動器のリスク者は 14.8% となっています。

運動器の機能低下者

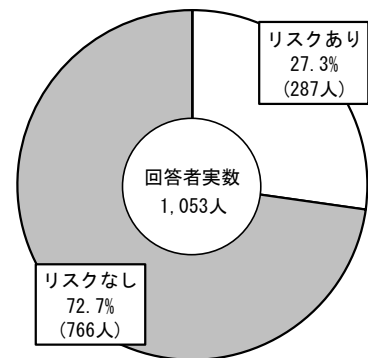


### (2) 転倒リスク者

転倒のリスク者は 27.3% となっています。

転倒に対する不安について、転倒リスクの有無別にみると、「リスクあり」の方で不安を感じている方が多く、特に「とても不安である」は「リスクあり」で 28.6%、「リスクなし」で 10.4% とその差は 18.2 ポイントと大きくなっています。

転倒リスク者



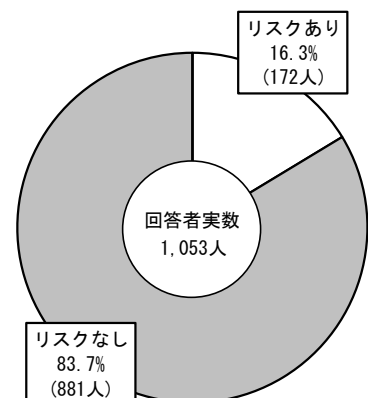
転倒に対する不安はあるか（転倒リスク別）

	回答者実数	とても不安である	やや不安である	あまり不安でない	不安でない	無回答
リスクあり	287人	28.6% (82人)	46.7% (134人)	20.2% (58人)	4.5% (13人)	0.0% (0人)
リスクなし	766人	10.4% (80人)	29.9% (229人)	28.5% (218人)	30.4% (233人)	0.8% (6人)

### (3) 閉じこもり傾向（リスク者）

閉じこもりのリスク者は 16.3% となっています。

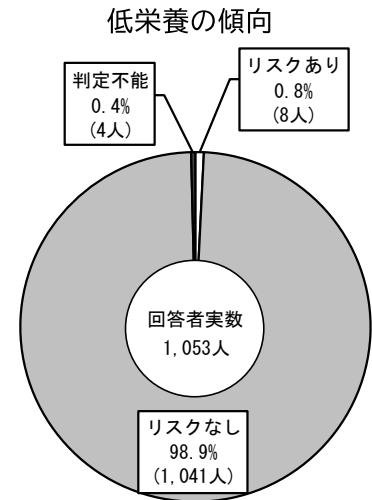
閉じこもり傾向



### 3. 体のことや食べることについて

#### (1) 低栄養の傾向（リスク者）

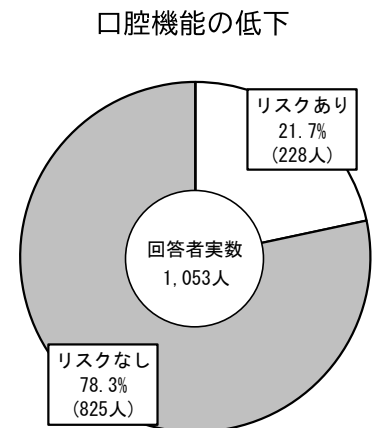
低栄養のリスク者は0.8%となっています。



#### (2) 口腔機能低下

##### ① 口腔機能の低下者（リスク者）

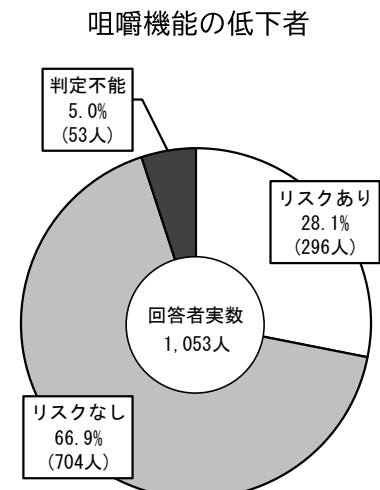
口腔機能のリスク者は21.7%となっています。



##### ② 咀嚼機能の低下者（リスク者）

口腔機能のうち、「半年前より固いものが食べにくくなったか」を尋ね、咀嚼機能の低下が疑われる高齢者を把握しました。

咀嚼機能のリスク者は28.1%となっています。

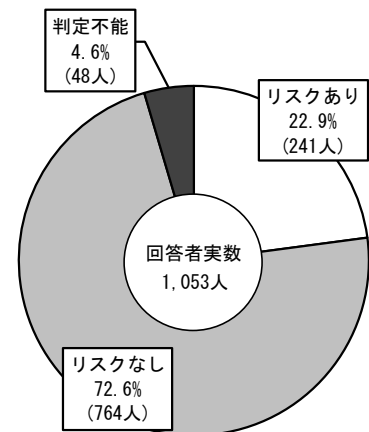


### ③嚥下機能の低下者（リスク者）

口腔機能のうち、「お茶等でむせることがあるか」を尋ね、嚥下機能の低下が疑われる高齢者を把握しました。

嚥下機能のリスク者は22.9%となっています。

嚥下機能の低下者

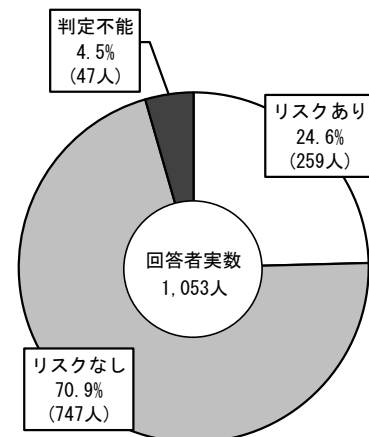


### ④肺炎発症リスク者

口腔機能のうち、「口の渇きが気になるか」を尋ね、肺炎発症リスクが疑われる高齢者を把握しました。

肺炎発症リスク者は24.6%となっています。

肺炎発症のリスク



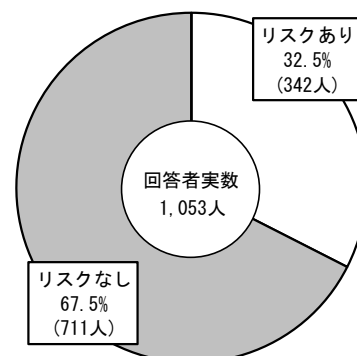
## 4. 毎日の生活について

### (1) 認知機能

#### ① 認知機能の低下者（リスク者）

認知機能リスク者は 32.5% となっています。

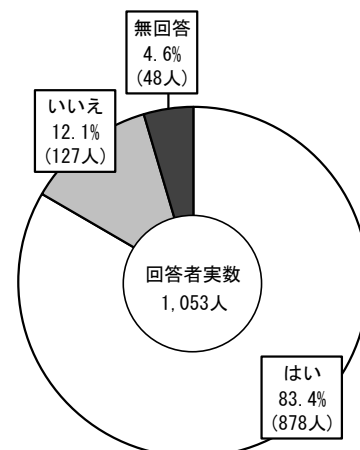
認知機能の低下



#### ② 電話をかけられるか

認知機能に関連して、自分で電話番号を調べて電話をかけられるか尋ねたところ、「はい(かけられる)」が 83.4%、「いいえ(かけられない)」が 12.1% となっています。

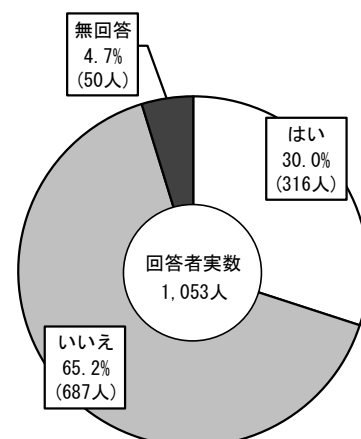
電話をかけられるか



#### ③ 日付がわからない時があるか

認知機能に関連して、今日の日付がわからないときがあるか尋ねたところ、「はい(わからない時がある)」が 30.0%、「いいえ(わからない時はない)」が 65.2% となっています。

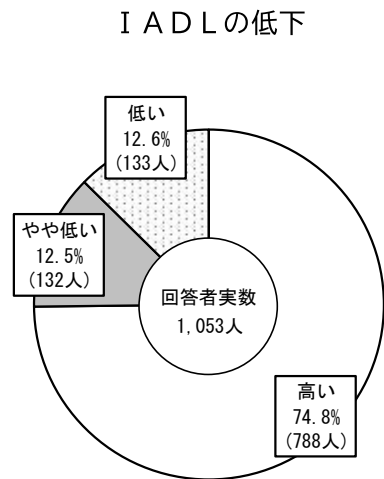
日付がわからない時があるか



## (2) IADLの低下者（リスク者）

買い物や洗濯・掃除等といった「手段的日常生活動作」であるIADLのリスク者（低い+やや低い）は25.1%となっています。

※「やや低い」+「低い」=低下者（リスクあり）

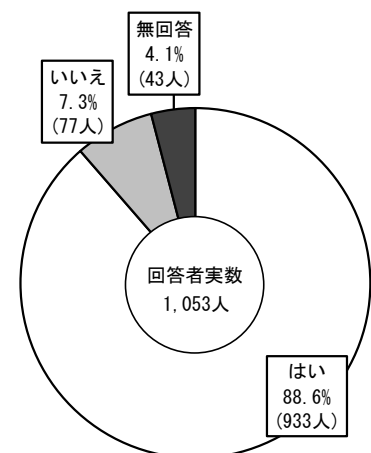


## (3) 携帯電話(折りたたみ式、スマートフォン)やタブレット等について

### ①所持状況

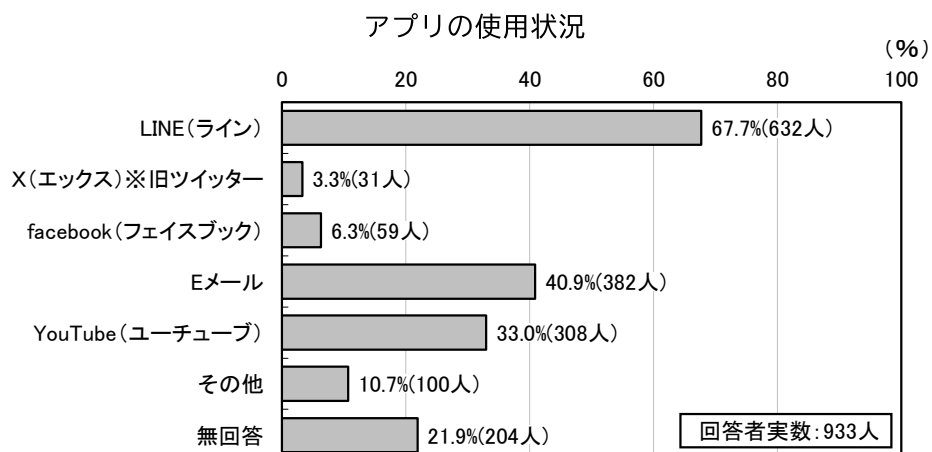
携帯電話(折りたたみ式、スマートフォン)やタブレット等を所持している割合は88.6%と、9割近くに及んでいます。

携帯電話等の所持状況



### ②アプリの使用状況

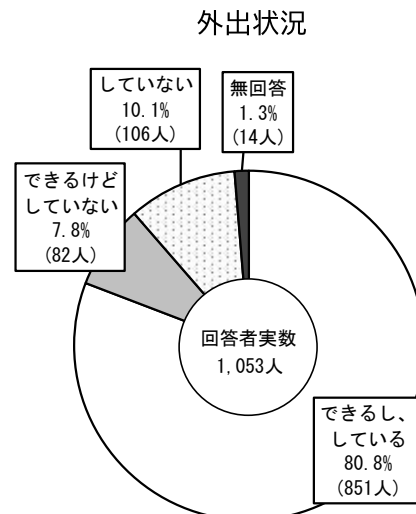
携帯電話等を所持している人のアプリ使用では、「LINE(ライン)」67.7%が6割半ばで最も高くなっています。また、「Eメール」が40.9%、「YouTube(ユーチューブ)」33.0%と続いています。



#### (4)外出について

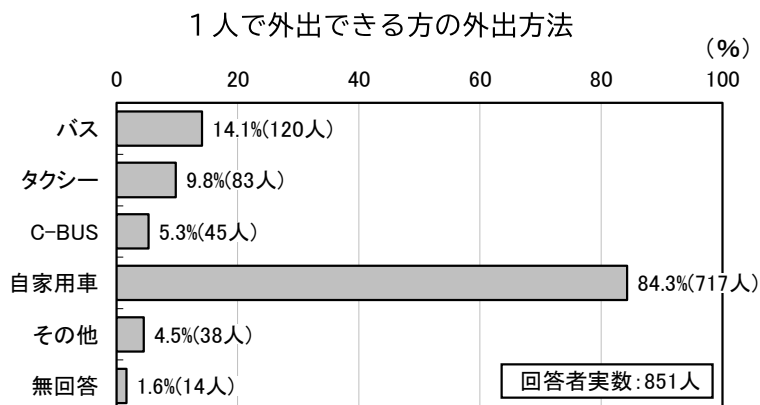
##### ①外出状況

バスなどを使って1人で外出しているか尋ねたところ、「できるし、している」は80.8%と、8割を占めています。



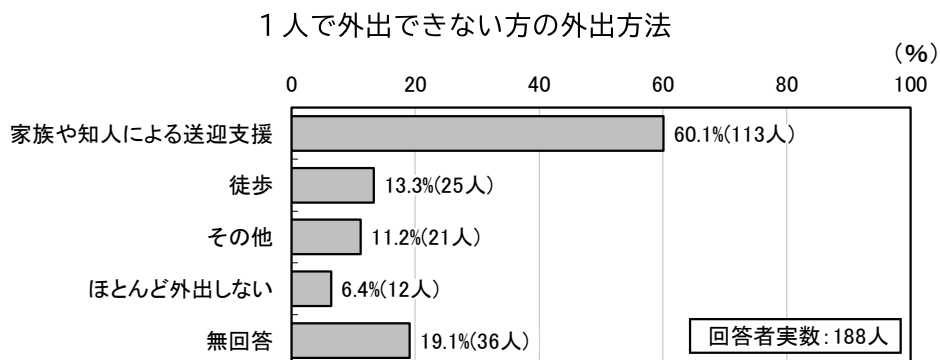
##### ②1人で外出できる方の外出の方法

1人で外出を「できるし、している」と答えた方に外出の方法を聞いたところ、「自家用車」が最も高く84.3%、次いで「バス」が14.1%、「タクシー」が9.8%となっています。



##### ③1人で外出できない方の外出方法

1人で外出を「できるけどしていない」または「していない」と答えた方に外出の方法を聞いたところ、「家族や知人による送迎支援」が最も高く60.1%、次いで「徒歩」が13.3%、となっています。また、「ほとんど外出しない」は6.4%あります。



## 5. あなたの活動について

### (1) 社会参加

社会参加の程度について尋ねたところ、全体的に「参加していない」という回答割合が非常に高く、全てにおいて概ね5割から8割を占めています。特に、「学習・教養サークル」、「介護予防のための通いの場(貯筋クラブなど)」、「老人クラブ」は8割半ばを超えています。全般的に社会参加活動や就労等を行っていない高齢者が多くを占めていることがわかります。

各活動の参加頻度を見ると、「収入のある仕事」は「週4回以上」が最も高く、ほかの活動より頻度が多いです。また、「スポーツ関係のグループやクラブ」は「週2～3回」が最も高く、「趣味関係のグループ」、「学習・教養サークル」、「介護予防のための通いの場(貯筋クラブなど)」は週1回が高くなっています。月1～3回は「老人クラブ」と「その他定期的な集まり(模合やお茶会なども含む)」、「年に数回」は「自治会・公民館の活動」、「ボランティアのグループ」で比較的高くなっています。

#### 社会参加

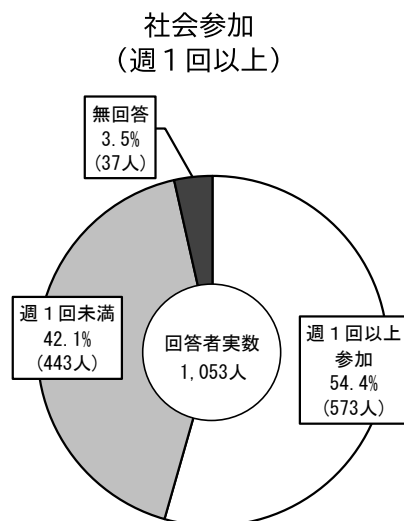
	週4回以上	週に2～3回	週に1回	月に1～3回	年に数回	参加していない	無回答
ボランティアのグループ	1.0% (11人)	2.0% (21人)	2.1% (22人)	2.8% (30人)	4.8% (51人)	83.4% (878人)	3.8% (40人)
スポーツ関係のグループやクラブ	4.0% (42人)	7.8% (82人)	6.6% (70人)	4.8% (51人)	0.6% (6人)	72.3% (761人)	3.9% (41人)
趣味関係のグループ	2.4% (25人)	6.7% (71人)	7.7% (81人)	7.0% (74人)	2.4% (25人)	70.0% (737人)	3.8% (40人)
学習・教養サークル	0.6% (6人)	1.2% (13人)	2.7% (28人)	1.8% (19人)	1.5% (16人)	88.2% (929人)	4.0% (42人)
介護予防のための通いの場(貯筋クラブなど)	0.7% (7人)	3.8% (40人)	5.3% (56人)	0.4% (4人)	0.7% (7人)	85.4% (899人)	3.8% (40人)
老人クラブ	1.3% (14人)	2.3% (24人)	0.9% (10人)	3.2% (34人)	2.9% (31人)	85.5% (900人)	3.8% (40人)
自治会・公民館の活動	0.8% (8人)	2.2% (23人)	1.9% (20人)	4.3% (45人)	11.3% (119人)	75.8% (798人)	3.8% (40人)
収入のある仕事	14.2% (149人)	7.4% (78人)	2.5% (26人)	2.2% (23人)	1.9% (20人)	68.2% (718人)	3.7% (39人)
その他定期的な集まり(模合やお茶会なども含む)	1.3% (14人)	1.9% (20人)	2.4% (25人)	26.0% (274人)	8.7% (92人)	56.0% (590人)	3.6% (38人)

※回答者実数=1,053人

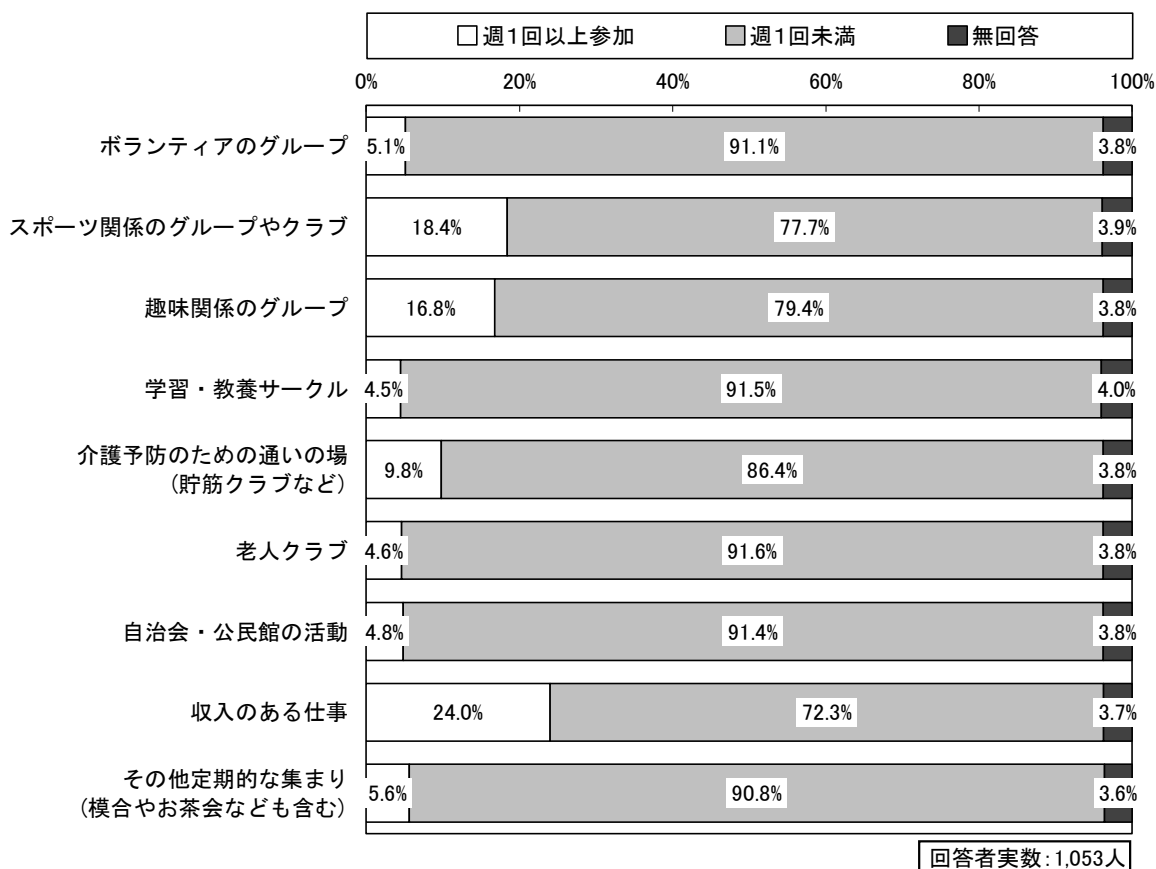
社会参加の程度について各活動をまとめたところ、「週1回以上参加」が54.4%、「週1回未満」が42.1%となっています。

活動別にみると、「収入のある仕事」が24.0%で最も高く、「スポーツ関係のグループやクラブ」が18.4%、「趣味関係のグループ」が16.8%であり、これら3つが比較的高く、その他の活動は全て1割未満に留まっています。

※週1回以上 = 「週4回以上」、「週2～3回」、「週1回」を合わせたもの  
 ※週1回未満 = 「月1～3回」、「年に数回」、「参加していない」を合わせたもの



社会参加 (週1回以上の参加)



## 6. 健康について

### (1) 主観的健康感

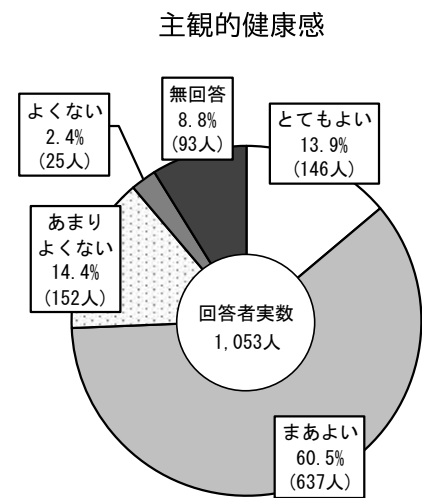
健康状態について尋ねたところ、「まあよい」が60.5%で圧倒的に高くなっています。また、「とてもよい」は13.9%で、これら2つを合わせると、74.4%となります。

性別でみると、「とてもよい」の回答は女性で、「まあよい」の回答は男性の方で少し高くなっていますが、男女別の大きな差はありません。

年齢別にみると、「とてもよい」と「まあよい」を合わせた“健康”は、年齢が上がるとともに割合が減少する傾向にあり、70代までは7割半ばを超えています。80代では7割を下回り、90歳以上では35.1%となっています。

「あまりよくない」と「よくない」を合わせた“健康ではない”は年齢が上がるとともに割合も上昇する傾向にあり、80代まで3割未満ですが、90歳以上では5割近くを占めています。

幸福度別にみると、“健康”は10点(とても幸せ)で92.1%、7点～9点(やや幸せ)で85.0%と8割を超えています。4点～6点(普通)で66.1%、1点～3点(やや幸福ではない)で44.8%、0点(幸福ではない)では50.0%となっており、健康感と幸福度との相関関係が見られます。



#### 主観的健康感（性別、年齢別）

	回答者実数	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
男性	491人	13.4%(66人)	61.3%(301人)	14.3%(70人)	2.9%(14人)	8.1%(40人)
女性	562人	14.2%(80人)	59.8%(336人)	14.6%(82人)	2.0%(11人)	9.4%(53人)
60代	223人	17.9%(40人)	61.9%(138人)	13.9%(31人)	1.3%(3人)	4.9%(11人)
70代	542人	14.4%(78人)	62.7%(340人)	9.6%(52人)	3.0%(16人)	10.3%(56人)
80代	251人	11.2%(28人)	58.2%(146人)	22.3%(56人)	0.4%(1人)	8.0%(20人)
90歳以上	37人	0.0%(0人)	35.1%(13人)	35.1%(13人)	13.5%(5人)	16.2%(6人)

#### 主観的健康感（幸福度別）

	回答者実数	とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答
0点 (幸福ではない)	2人	0.0%(0人)	50.0%(1人)	0.0%(0人)	50.0%(1人)	0.0%(0人)
1点～3点 (やや幸福ではない)	29人	0.0%(0人)	44.8%(13人)	24.1%(7人)	31.0%(9人)	0.0%(0人)
4点～6点 (普通)	245人	4.9%(12人)	61.2%(150人)	29.8%(73人)	2.9%(7人)	1.2%(3人)
7点～9点 (やや幸せ)	469人	11.9%(56人)	73.1%(343人)	12.8%(60人)	1.1%(5人)	1.1%(5人)
10点 (とても幸せ)	216人	35.6%(77人)	56.5%(122人)	5.1%(11人)	0.9%(2人)	1.9%(4人)

## (2)主観的幸福感

現在の幸福感について、「とても幸せ」を10点、「幸福ではない」を0点として、回答していただきました。

「10点」（とても幸せ）が20.5%、「8点」18.4%、「5点」（普通）が14.6%で比較的高くなっています。

性別でみると、「5点」は男性の方が女性より高く、「8点」から「10点」は、女性の方がやや高くなっています。

年齢別にみると、「10点」は70～80代が高く、「8点」は60代が高くなっています。

### 主観的幸福感（性別、年齢別）

	回答者実数	0点 (幸福ではない)	1点	2点	3点	4点	5点
全体	1,053人	0.2% (2人)	0.4% (4人)	0.8% (8人)	1.6% (17人)	1.7% (18人)	14.6% (154人)
男性	491人	0.2% (1人)	0.0% (0人)	1.0% (5人)	1.4% (7人)	2.4% (12人)	15.7% (77人)
女性	562人	0.2% (1人)	0.7% (4人)	0.5% (3人)	1.8% (10人)	1.1% (6人)	13.7% (77人)
60代	223人	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.9% (2人)	2.2% (5人)	3.1% (7人)	14.3% (32人)
70代	542人	0.4% (2人)	0.4% (2人)	0.9% (5人)	1.8% (10人)	1.3% (7人)	14.0% (76人)
80代	251人	0.0% (0人)	0.8% (2人)	0.4% (1人)	0.4% (1人)	1.6% (4人)	15.5% (39人)
90歳以上	37人	0.0% (0人)	0.0% (0人)	0.0% (0人)	2.7% (1人)	0.0% (0人)	18.9% (7人)

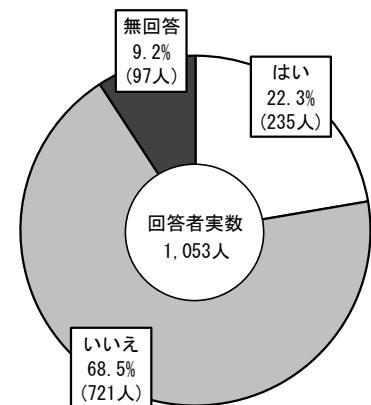
	回答者実数	6点	7点	8点	9点	10点 (とても幸せ)	無回答
全体	1,053人	6.9% (73人)	12.6% (133人)	18.4% (194人)	13.5% (142人)	20.5% (216人)	8.7% (92人)
男性	491人	5.5% (27人)	16.7% (82人)	18.1% (89人)	10.8% (53人)	19.6% (96人)	8.6% (42人)
女性	562人	8.2% (46人)	9.1% (51人)	18.7% (105人)	15.8% (89人)	21.4% (120人)	8.9% (50人)
60代	223人	6.7% (15人)	14.3% (32人)	21.1% (47人)	14.3% (32人)	18.4% (41人)	4.5% (10人)
70代	542人	6.8% (37人)	13.1% (71人)	17.9% (97人)	12.9% (70人)	20.7% (112人)	9.8% (53人)
80代	251人	7.2% (18人)	10.4% (26人)	18.3% (46人)	13.5% (34人)	22.7% (57人)	9.2% (23人)
90歳以上	37人	8.1% (3人)	10.8% (4人)	10.8% (4人)	16.2% (6人)	16.2% (6人)	16.2% (6人)

## 7. その他

### (1) 認知症に関する相談窓口を知っているか

認知症に関する相談窓口の認知度について尋ねたところ、「はい(知っている)」という回答は22.3%、「いいえ(知らない)」は68.5%で、7割近くの方は認知症に関する相談窓口について知らないと答えています。

認知症に関する  
相談窓口を知っているか

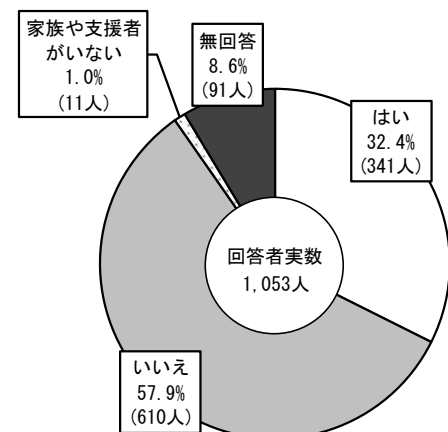


### (2) 人生の最終段階について

人生の最終段階(病気の回復が見込めず死期が近い場合等)に備えて、あなたの希望や思いを家族や支援者と話し合ったことがあるか尋ねたところ、「はい」は32.4%と3割程度となっています。

また、「家族や支援者がいない」という回答も1.0%(11人)います。

人生の最終段階について

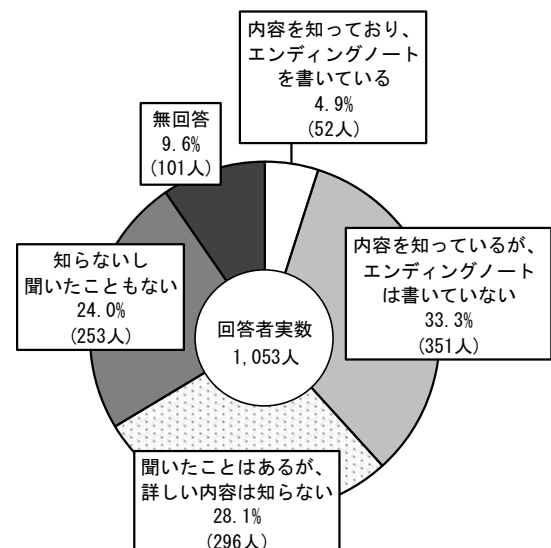


### (3) エンディングノートの認知状況

エンディングノートの認知状況は、「知らないし聞いたこともない」が24.0%と2割半ばを占めます。

エンディングノートを知っている割合は38.2%あり、そのうちエンディングノートを書いているという方は僅か4.9%に留まっています。

エンディングノートの認知状況



## 8. リスク者割合の比較

### (1) 圏域別の比較

本調査で把握された各身体機能リスク(総合事業対象者、運動器の機能低下などの8項目)について、「リスクあり」や「低下者」の割合を、様々な調査項目と比較し、実態把握や相関関係を確認しました。

リスク者の割合についてみると、町全体では、「認知機能の低下」と「IADLの低下」が特に高くなっています。

圏域別にみると、どちらの圏域も「認知機能の低下」、「IADLの低下」でリスク者の割合が特に高くなっています。各身体機能リスクについて、圏域別の差は大きくありませんが、「運動器の機能低下」で、北谷中学校区が桑江中学校区より4.7ポイント高くなっています。

#### リスク者割合の比較(全体・圏域別)

	費	働	運 の 種	転 々	閉 も 傾	養 の 傾	健	健 の 低	健 の 低
全 体	1,053人	22.3% (235人)	14.8% (156人)	27.3% (287人)	16.3% (172人)	0.8% (8人)	21.7% (228人)	32.5% (342人)	25.1% (265人)
北谷中学校区	551人	21.4% (118人)	17.1% (94人)	25.8% (142人)	18.0% (99人)	0.5% (3人)	20.7% (114人)	30.9% (170人)	26.5% (146人)
桑江中学校区	502人	23.3% (117人)	12.4% (62人)	28.9% (145人)	14.5% (73人)	1.0% (5人)	22.7% (114人)	34.3% (172人)	23.7% (119人)

## (2) 家族構成別の比較

リスク者割合を家族構成別にみると、「息子・娘との2世帯」の家族構成で、「総合事業」、「運動器の機能低下」、「閉じこもり傾向」、「IADLの低下」の身体機能リスクで割合が高く、「IADLの低下」は他家族構成より特に高くなっています。また、「1人暮らし」では「総合事業」、「転倒リスク」、「口腔機能低下」、「認知機能の低下」が高くなっています。

リスク者割合の比較（家族構成別）

	費	養	避	転	閉	養	避	避	避
			の	の	も	の		の	の
			権	た	傾	傾		低	低
1人暮らし	232人	24.6% (57人)	17.7% (41人)	31.9% (74人)	19.4% (45人)	0.9% (2人)	24.6% (57人)	34.1% (79人)	15.1% (35人)
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	430人	20.7% (89人)	11.2% (48人)	26.5% (114人)	13.7% (59人)	0.9% (4人)	20.0% (86人)	31.9% (137人)	26.7% (115人)
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	48人	20.8% (10人)	12.5% (6人)	25.0% (12人)	10.4% (5人)	0.0% (0人)	20.8% (10人)	33.3% (16人)	18.7% (9人)
息子・娘との2世帯	178人	24.7% (44人)	21.9% (39人)	29.2% (52人)	20.2% (36人)	0.6% (1人)	20.2% (36人)	29.8% (53人)	34.3% (61人)
その他	157人	21.0% (33人)	12.1% (19人)	20.4% (32人)	15.3% (24人)	0.6% (1人)	22.3% (35人)	34.4% (54人)	25.4% (40人)

### (3)社会参加別の比較

リスク者割合を社会参加別でみると、「収入のある仕事」では、「総合事業」や「運動器の機能低下」、「IADLの低下」のリスク割合が低くなっています。また、「学習・教養サークル」では「閉じこもり傾向」や「IADLの低下」のリスク割合が低くなっています。

そのほか、「ボランティアのグループ」では「認知機能の低下」、「自治会・公民館の活動」では「転倒リスク」で、ほかの活動よりもリスク割合が低い傾向にあります。

リスク者割合の比較（社会参加別）

	費	織	織 の 種	軋 々	閉 も の 傾	養 の 傾	體	體 の 低	転 倒 の 低
ボランティアのグループ	135人	21.5% (29人)	12.6% (17人)	27.4% (37人)	7.4% (10人)	0.0% (0人)	18.5% (25人)	29.6% (40人)	17.7% (24人)
スポーツ関係のグループやクラブ	251人	18.3% (46人)	7.6% (19人)	24.7% (62人)	5.6% (14人)	0.4% (1人)	16.7% (42人)	34.7% (87人)	18.4% (46人)
趣味関係のグループ	276人	18.1% (50人)	9.4% (26人)	25.4% (70人)	5.8% (16人)	0.0% (0人)	17.0% (47人)	30.4% (84人)	17.8% (49人)
学習・教養サークル	82人	24.4% (20人)	14.6% (12人)	25.6% (21人)	3.7% (3人)	3.7% (3人)	19.5% (16人)	30.5% (25人)	13.4% (11人)
介護予防のための通いの場(貯筋クラブなど)	114人	32.5% (37人)	24.6% (28人)	41.2% (47人)	14.0% (16人)	0.0% (0人)	33.3% (38人)	45.6% (52人)	30.7% (35人)
老人クラブの活動	113人	27.4% (31人)	14.2% (16人)	30.1% (34人)	4.4% (5人)	0.0% (0人)	21.2% (24人)	35.4% (40人)	22.1% (25人)
自治会・公民館の活動	215人	23.3% (50人)	9.8% (21人)	23.3% (50人)	7.4% (16人)	1.4% (3人)	20.0% (43人)	30.2% (65人)	20.0% (43人)
収入のある仕事	296人	16.6% (49人)	5.4% (16人)	25.7% (76人)	6.1% (18人)	0.7% (2人)	18.2% (54人)	32.4% (96人)	13.9% (41人)
その他定期的な集まり(模合やお茶会なども含む)	425人	20.5% (87人)	10.6% (45人)	24.0% (102人)	8.7% (37人)	0.7% (3人)	17.2% (73人)	32.5% (138人)	18.1% (77人)

社会参加について、各種活動を「週1回以上参加」している人と「週1回未満」の人と比べると、ほぼ全ての項目において、「週1回未満」の方で、リスク者割合が高くなっています。

リスク者割合の比較（社会参加頻度別）

	費	織	織 の 種	軋 々	閉 も の 傾	養 の 傾	體	體 の 低	転 倒 の 低
週1回以上参加	573人	20.9% (120人)	10.1% (58人)	26.0% (149人)	8.0% (46人)	0.5% (3人)	19.9% (114人)	33.5% (192人)	18.3% (105人)
週1回未満	443人	23.0% (102人)	19.4% (86人)	27.5% (122人)	26.4% (117人)	1.1% (5人)	23.0% (102人)	30.9% (137人)	32.3% (143人)

#### (4)主観的幸福度別の比較

リスク者割合を幸福度別で見ると、人数の少ない「0点(幸福ではない)」を除いて「1点～3点(やや幸福ではない)」がほとんどの項目でリスク者割合が高くなっており、「転倒リスク」、「認知機能の低下」では6割、「口腔機能低下」では5割近く、そのほかの項目でも3割を占めています。

また、「10点(とても幸せ)」を「1点～3点(やや幸福ではない)」と比較すると「認知機能低下」では40.8ポイント、「転倒リスク」では41.3ポイントの大きな差となっています。

##### リスク者割合の比較（幸福度別）

	費	纏	廻	転	閉	養	纏	纏	閉
			の	々	じ	の		の	の
			礎		も	傾		低	低
					傾				
0点 (幸福ではない)	2人	100.0% (2人)	50.0% (1人)	100.0% (2人)	50.0% (1人)	50.0% (1人)	0.0% (0人)	50.0% (1人)	0.0% (0人)
1点～3点 (やや幸福ではない)	29人	37.9% (11人)	31.0% (9人)	62.1% (18人)	34.5% (10人)	0.0% (0人)	48.3% (14人)	62.1% (18人)	31.0% (9人)
4点～6点 (普通)	245人	26.5% (65人)	23.7% (58人)	38.0% (93人)	22.4% (55人)	0.8% (2人)	30.6% (75人)	44.9% (110人)	29.0% (71人)
7点～9点 (やや幸せ)	469人	22.4% (105人)	11.1% (52人)	21.5% (101人)	11.3% (53人)	0.9% (4人)	20.3% (95人)	30.7% (144人)	23.7% (111人)
10点 (とても幸せ)	216人	16.2% (35人)	9.7% (21人)	20.8% (45人)	12.5% (27人)	0.0% (0人)	13.0% (28人)	21.3% (46人)	21.3% (46人)

#### (5)主観的健康観別の比較

リスク者割合を主観的健康観別で見ると、「健康ではない」(「よくない」、「あまりよくない」)の回答者は、「とてもよい」「まあよい」と比べ、全項目でリスク者割合が高くなっています。特に、「よくない」においてはほとんどの項目で最も高く、「転倒リスク」、「IADLの低下」、「運動器の機能低下」では6割、「閉じこもり傾向」、「口腔機能低下」では5割となっています。

##### リスク者割合の比較（主観的健康観）

	費	纏	廻	転	閉	養	纏	纏	閉
			の	々	じ	の		の	の
			礎		も	傾		低	低
					傾				
とてもよい	146人	6.2% (9人)	2.1% (3人)	11.0% (16人)	6.2% (9人)	0.0% (0人)	4.8% (7人)	14.4% (21人)	11.0% (16人)
まあよい	637人	20.9% (133人)	9.7% (62人)	24.5% (156人)	11.9% (76人)	0.5% (3人)	20.3% (129人)	30.9% (197人)	24.4% (155人)
あまりよくない	152人	42.8% (65人)	39.5% (60人)	46.7% (71人)	30.9% (47人)	2.0% (3人)	42.8% (65人)	59.9% (91人)	33.6% (51人)
よくない	25人	40.0% (10人)	60.0% (15人)	64.0% (16人)	56.0% (14人)	0.0% (0人)	56.0% (14人)	48.0% (12人)	64.0% (16人)

## (6) BMI 別の比較

リスク者割合をBMI別で見ると、「低体重(やせ型)」は、全ての項目で、リスク者割合が最も高くなっています。特に、「総合事業」、「認知機能の低下」で4割近く、「転倒リスク」や「口腔機能低下」では3割前半を占めています。

リスク者割合の比較 (BMI別)

	費	薬	避 の 種	転 倒	閉 も 傾	養 の 傾	健	健 の 低	口 の 低
低体重	45人	37.8% (17人)	22.2% (10人)	31.1% (14人)	26.7% (12人)	17.8% (8人)	31.1% (14人)	37.8% (17人)	31.1% (14人)
普通体重	563人	21.3% (120人)	11.9% (67人)	25.9% (146人)	15.3% (86人)	0.0% (0人)	22.2% (125人)	34.5% (194人)	23.5% (132人)
肥満	384人	23.4% (90人)	17.2% (66人)	29.2% (112人)	16.1% (62人)	0.0% (0人)	21.6% (83人)	32.0% (123人)	24.5% (94人)